



めいわ かわら版

ところ、障害者や高齢者、児童など幅広い方を対象に事業展開をしている明和会に出会いました。職場の元気で温かな雰囲気にも心引かれて入職を決意し、現在に至ります。

——福祉を専門に学んでいなかったことで、苦勞もあつたのではないのでしょうか。

覚えなければいけない物事が山のようにあり、未だに仕事の大変さを感じる毎日です。例えば、利用者様との適切な距離感の取り方、利用者様がどのように体の関節や筋肉を動かして移動するのかなどは、この仕事に就かなければ知らなかった知識です。特に、人それぞれ好みや方法がある投薬には苦勞しました。1度、利用者様の苦手な方法で投薬し、薬を飲んでいただけなかったこともあります。

専門知識がないために右往左往した経験は多かつたかもしれませんが、先輩たちの仕事振りを見て学んでは実践を繰り返して、技術と知識の習得に尽力しました。大変さを感じながらも新しい知識が増える過程を楽しみ、仕事に向き合っていると



——入職から1年が経ち、ご自身の成長を感じる瞬間はありますか。

利用者様が心を開いてくれたと感じられた時です。話しかけてもあまり反応を示さない方や、自分から積極的に話しかけない方もいらっしゃいますが、日々のコミュニケーションを通じてある日を境に挨拶を返してくれるようになり、感慨深く思いました。また、普段はそつけない態度だった方が私の名前を呼んでくれた時の喜びは、何より大きかったことを覚えています。

——仕事のやりがいについてお聞かせください。

利用者様にとってより過ごしやすい環境づくりができた時にやりがいを感じます。以前、車椅子の扱い方について外部の専門家から指導していただきました。アドバイスをもとに職員同士で話し合いながら実践した結果、車椅子を利用している方が感じる負担の軽減につながられたのです。職員一丸となってより良い環境づくりに関わり、行動が結果につながった時の嬉しさはひとしおです。

——プライベートではどのように過ごしていますか。

大学4年生の時からアクセサリーづくりをはじめました。ピアスなどでイヤリングやブレスレットを自作し、作品数は20個ほどに。作ったアクセサリーを身につけて休日を通すこともあり、好きなものに囲まれて日々の疲れをリフレッシュしています。

——今後の目標をお願いします。

以前、「あきは寮で書道経験を生かした活動してみないか」というお話をいただきました。その実現を目指して企画を進めていき、書道で使う墨や筆に触れるところから皆さんに楽しんでもらえる時間までできれば、嬉しく思います。

それ以外にも、これまでの1年間の学びを復習して体得するという目標と、知識不足を解消するためにも介護職員初任者研修をはじめとする

あきは寮 生活支援員

密岡 風沙

2021年4月に社会福祉法人明和会へ入職した密岡風沙さん。採用後はあきは寮に配属され、利用者様の生活全般を支えています。学生時代は書道に打ち込んできたという密岡さんは、どのようなきっかけで入職に至ったのでしょうか。これまでの経験や仕事のやりがい、今後の目標などと併せてお話を伺いました。

——入職までの経緯をお聞かせください。

小学校3年生で書道教室に通いはじめ、高校、大学と書道を専攻しました。実は、学生時代は「特別支援学校の国語教員になって書道を子どもたちに教えたい」と考えていたのです。書道の楽しさを伝える書道家の金澤翔子さんに憧れ、子どもたちに書道を楽しんでほしいという思いがありました。

しかし、大学時代に経験した障害者向けグループホームでのアルバイトがきっかけで、考えが変わりました。利用者様との会話を楽しんだり、一緒に食事をしたりと、利用者様が明るく日常生活を送るサポートをすることが楽しかったのです。「困っている人の助けになる仕事をしたいたい」という思いから就職活動をはじめた。

福祉系資格を取得するという目標もあります。少しずつ行動し、これからも成長を続けていきます。



<企業情報>
社会福祉法人明和会
■法人認可：1966年11月
■職員数：384人
※2022年7月時点
■問い合わせ先：0538-42-3228



密岡さんへのメッセージ

巻頭インタビューに登場なさった密岡さんをよく知るあきは寮の3人から、コメントをいただきました。一緒に働く皆さんのお話から、密岡さんの魅力がたくさん見えてきました！

Q 密岡さんを一言で表すと？

憎めないかわいらしい人

Q

密岡さんのすごいところ

落ち着いているけど、自分の意志や考えを持っていて、それをきちんと主張することができる。意外と熱い部分もあり、利用者さん思いだなと思います。

Q

思い出のエピソード

ひたすら食べながら、仕事の話やプライベートの話をたくさん話したこと。密岡さんのいろいろな一面を知ることができて楽しい時間でした！

メッセージ

年齢や職歴が近い分、話しやすく心強い存在です！いつもありがとうございます！これからも一緒に頑張りましょう！



あきは寮 生活支援員 影山 千夏さん

Q 密岡さんを一言で表すと？

かわいい娘

Q

密岡さんのすごいところ

彼女の机上はとても綺麗で、担当利用者のタンスの中も整理整頓されています。芯の強さを感じます！

Q

思い出のエピソード

ジャニーズ、特に嵐の大ファンですが、昔のジャニーズ（少年忍者）を知っていて驚きました！話が盛り上がり、好感が持てます。

メッセージ

忙しい業務の中、一生懸命頑張ってくれて感謝しています。密岡さんの笑顔が場を和ませてくれています。これからも一緒に頑張っていきたいと思います。



あきは寮 グループ主任 山崎 梨恵子さん

Q 密岡さんを一言で表すと？

落ち着いて見えるけど、実はお話が好きな今時の女の子

Q

密岡さんのすごいところ

いつも周りをよく見て動いているところです。また、自分の意見や考えをしっかりと持っていて、意見を求められたときには、しっかりと発言できるところがすごいと思っています。

Q

思い出のエピソード

昨年度、係の仕事と一緒に手伝ってくれました。そのとき、仕事中にはできない話をゆっくり話すことができ、大変盛り上がりました！あの楽しい時間はとおきの思い出です！

メッセージ

コロナ禍での入社で大変な状況の中、いつも頑張っていると感ずきます。密岡さんの働きぶりから学ぶことがたくさんあります。今後も、楽しい時間や様々なことを共有しながら、一緒に頑張っていきたいと思っています！



あきは寮 岩室 郁美さん

私の夏の思い出

「夏が来れば思い出す……」という歌詞もありますが、皆さんが夏と聞いて思い浮かべるのは何ですか？今回は、夏の一番の思い出と必須アイテムを大調査してみました！



静岡中東遠障害者就業・生活支援センターラック 就業支援ワーカー
やました のりこ
山下 記子さん

私の夏の思い出

子どものころ、家族で夏休みに行った「キャンプ」

富士五湖周辺のキャンプ場で毎年場所は違い、いつもドキドキ楽しみでした。バーベキューや魚釣り、周辺観光と楽しかったことを覚えています。1度湖に行ったときに、ゲリラ豪雨で九死に一生スペシャルのような体験をしたのも思い出の1つです！今度は自分の子どもを連れていける日が来ると良いなと思います。

＼夏に欠かせないもの／

スイカです。毎年必ず我が家の冷蔵庫に巨大スイカがやってきて野菜室を占拠します。スイカ大好きさんによってすぐに小さくなっていきますが……今年も6月から現れました！



明和第二保育園 保育士
おぎ あゆみ
小木 亜友美さん

私の夏の思い出

サッカー観戦が好きで、コロナ前はいろいろなチームのスタジアムに行っていました。

夏のスタジアムは、縁日のようなイベントをしていたり花火が上がったりと、夏にしか味わえない雰囲気でも楽しい場所です。応援しているチームが勝っているときに見る花火は最高です！今はなかなか県外には行けませんが、コロナが落ち着いたらまた行きたいと思います！

＼夏に欠かせないもの／

汗拭きシートです。工作中汗をかくことも多いので、毎年度の汗拭きシートが良いか試しています！今はホワイトムスクの匂いのものにハマっています。



明和ふかみの家 介護員
なかね りか
中根 利香さん

私の夏の思い出

3年前の夏、保護犬の譲渡会で我が家の家族になった愛犬との出会い

動物を飼ったことのない主人の説得に苦労しましたが、今では犬嫌いのじいじもおやつをあげるほど家族全員がメロメロ状態に！ぬいぐるみのような愛犬は愛嬌を振りまき、家族全員が癒されています。

＼夏に欠かせないもの／

ビールと漫画とポケモンGOです。暑さを忘れさせてくれます！



袋井学園 管理栄養士
さとう みなみ
佐藤 南さん

私の夏の思い出

野外音楽フェスの「ROCK IN JAPAN FESTIVAL」

大学のころ、友人と行っていました。見たいアーティストを相談して決める事前準備から楽しい時間です。当日は朝から晩まで音楽漬けで好きなアーティストの曲を生で聴き、大声でのコール＆レスポンス。サークルでグチャグチャにされるのが最高に楽しかった思い出です。今となっては贅沢なことをしていたと友人と思い出話をします。

＼夏に欠かせないもの／

「日焼け対策グッズ」です。日焼けすると痛いですし、シミになりたくないで、頑張って対策しています。